



2015年10月30日付

基準価額の推移



ファンドのデータ

基準価額	13,307円
純資産総額	5,341百万円
受益者数(直販)	1,464人(+49)

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	96.4%	5.4%
現金等	3.6%	▲5.4%
構成銘柄	53社	+1社

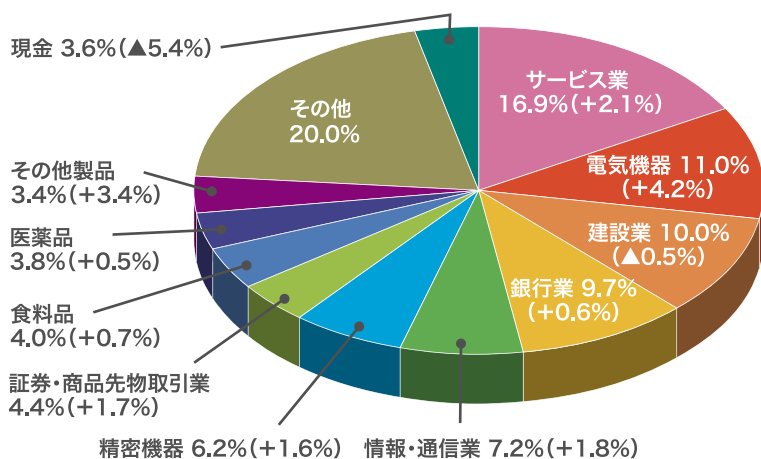
分配実績

第1期 (2014年12月18日)
0円

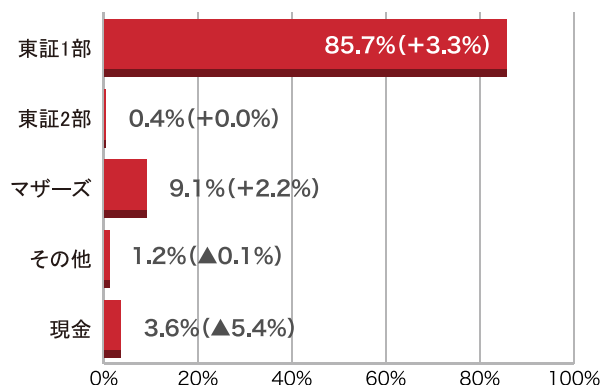
基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
9.03%	▲6.14%	▲2.23%	15.50%	33.07%

業種別構成比 ()内は前月比



市場別構成比 ()内は前月比



● 比率は純資産総額を100%として計算しております。 ● 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
● 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

市場概況

10月の株式市場は、中国PMI製造業指数の改善、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)大筋合意、日欧の追加金融緩和期待、そして弱い経済統計を背景にした米FRB(米連邦準備制度理事会)利上げの先送り観測などにより、上昇基調が継続する相場展開となりました。TOPIXの月間リターンは10.42%の上昇、日経平均は9.75%の上昇となりました。

詳細は以下の通りです。月初は、1日の中国PMI製造業指数の改善や2日発表の9月米雇用統計が市場予想を下回ったことにより米FRB利上げ延期の様相が高まったこと、そして日本がTPPに大筋合意したことなどにより連騰しました。9日は米FOMC(米連邦公開市場委員会)議事録において、中国の経済成長や米国のインフレ見通しに対するリスクの高まりが利上げ見送りの要因とされたことも好感されました。その後、9月の中国貿易統計で輸入が11か月連続でマイナスとなったことなどにより一時的に下落しましたが、21日に発表された日本の輸出が前月から下振れしたことで日銀による追加緩和期待の高まりや、23日にECB(欧州中央銀行)ドラギ総裁の発言を背景に金融緩和の可能性が高まったこと、また同日の中国人民銀行による利下げ実施などにより、日経平均は月末にかけて堅調な推移となりました。さらに月末となる30日には、日銀が金融政策の現状維持を発表したことによる円安や、今年度補正予算への期待が増したことなどを受けて上昇、日経平均は月間最高値19202円(ザラ場)を付けました。

主な株式指数をリターン順に見ると、TOPIX(+10.42%)、日経平均株価(+9.75%)、東証マザーズ指数(+5.37%)、日経JASDAQ平均(+4.49%)、東証2部(+4.49%)、JASDAQ指数(+4.14%)となりました。TOPIX規模別では、コア30(+11.72%)、ラージ70(+11.13%)、ミッド400(+9.54%)、スモール(+6.72%)となりました。TOPIX業種別株価指数のリターン上位3位は、パルプ・紙(+22.37%)、鉄鋼(+15.78%)、精密機器(+15.77%)でした。同下位3位は、小売業(+0.48%)、繊維製品(+5.59%)、その他製品(+6.35%)でした。なお33業種全ての業種がプラスリターンとなりました。

運用状況

◎10月の主な投資行動

米国の弱い経済統計など米利上げ先送り期待が高まる中、先月末91.0%としていた株式組入比率(以下、同比率)を月初(5日まで)に95%台後半まで引き上げました。主な売買業種としては建設業を引き上げ、外需セクター内における入れ替え(機械などの引き下げ、電気機器などの引き上げ)を実施しました。また月中(20日まで)の下値近辺では化学などを買い付け、同比率を99%台まで引き上げました。日銀の金融緩和期待や23日のECBドラギ総裁による追加緩和発言、中国利下げ実施などにより株価が上昇する過程において、化学や建設業を中心に売却し同比率を80%弱まで引き下げました。月末にかけては、主に株価が下落した鉄鋼やサービス業などを買い増すことで同比率を96.4%にまで引き上げました。

◎10月のファンド月間リターンとその要因

10月末の基準価額は13307円(9月末12205円)、ファンドの月間リターンは9.03%の上昇となりました。主な要因として、前月末より業種組入比率トップのサービス業や当月に組入比率を増した電気機器などが上昇したことによるものです。当ファンドにベンチマークはありませんが、ご参考としてTOPIXは10.42%の上昇となっており、当ファンドは1.39%のアンダーパフォームとなりました。主な要因として、当ファンドでTOPIX対比オーバーウェイトにしていた建設業(当月末保有比率10.0%)の業種別指数の月間リターン(+6.39%)が、TOPIXを下回ったことなどが挙げられます。

◎10月末のポートフォリオ

株式等組入比率は96.4%(前月末比+5.4%)に引き上げており、逆にキャッシュ比率は3.6%(同▲5.4%)に引き下げています。市場別構成比率では、東証1部85.7%(同+3.3%)、東証マザーズ9.1%(同+2.2%)などとなっています。業種別では、1位がサービス業16.9%(同+2.1%)、次いで電気機器11.0%(同+4.2%)、建設業10.0%(同▲0.5%)となりました。組入銘柄数は53銘柄(同+1)となりました。

組入上位5銘柄の紹介

(2015年9月30日現在)

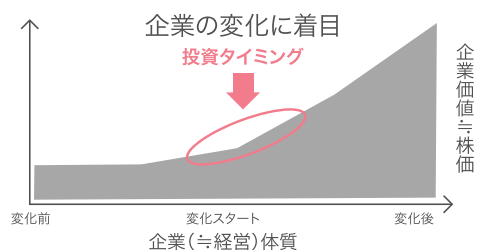
銘柄名		概要
業種	組入比率	
大成建設		大手ゼネコン5社の一角。1873年(明治6年)に大倉喜八郎により創立された大倉組商会在前身。代表的な施工物件としては、鹿鳴館、帝国ホテル、国立競技場、青函トンネル、横浜ランドマークタワーなど。都市再開発とエンジニアリングに強みを持つ。
建設業	5.6%	
ダイキン工業		世界に誇る日本の省エネ技術、強い販売力、優れた商品力が競争力の源泉であり、アフターケアとメンテナンスを絡めた総合力も抜群である。
機械	3.9%	
三越伊勢丹ホールディングス		2008年4月に三越と伊勢丹が設立した持株会社。百貨店業を中心に、クレジット、小売・専門店業などを営む。百貨店業での収益柱は旗艦店である新宿伊勢丹や日本橋三越など首都圏百貨店で、店舗は地方や海外にも多い。三越の創業は1673年(江戸前期)にさかのぼる。
小売業	3.8%	
楽天		社内公用語の英語化、海外企業買収など、成長に向けた強い意欲が際立つ。社員による店舗サポートが強みで、理念の共有、教育等の人的資産投資を積極的に行っている。
サービス業	3.7%	
三井住友トラスト・ホールディングス		目指す姿は「The Trust Bank」の実現で、メガバンクグループとは一線を画す。傘下に三井住友信託銀行、三井住友AM、日興AMなどを持つ。富裕層基盤を補完する「ダイナースカード」を買収しクレジットカード事業も強化。信託機能を活かしたフィージビネスの拡充を図る。
銀行業	3.3%	

- 組入上位5銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

運用方針

変化しはじめた企業、変化にチャレンジする企業を中心に中長期の視点で厳選し、ダイナミックな運用を行います。

定性評価



- ・5-10年の中長期的な視点で企業変化に着目
- ・「マネジメントが変化した企業」や「時代の変化に対応する企業」

日本株のみに厳選投資

50銘柄

- ・投資対象は大型から小型株
- ・企業取材など直接的なボトムアップ・アプローチに基づく調査を実施
- ・相場見通しや個々の株価水準に合わせて、より株価上昇の角度が高い約50銘柄を厳選
- ・50銘柄で分散効果は十分可能

定量評価

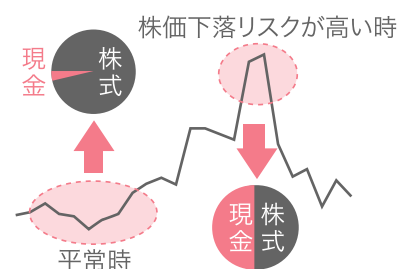
株価に対する割安感

- ・PER、PBR、配当利回りなど株価に対する指標(バリエーション)

収益力の変化と持続性

- ・ROE、利益成長率、利益率など株価上昇による割安感が解消した場合や、さらに割安な銘柄を発掘した場合などには投資期間に関わらず売却

株価下落リスク回避のためのダイナミックな運用



株価下落リスクの回避を目指し、株式組入比率をダイナミックにコントロール

メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
10月2日	日経新聞	5面 静岡銀、コモンズ投信に3億円出資 20%超の株主に
10月5日	日経新聞	20面 M&I『社会問題解決、収益も狙う』でコモンズ30ファンドが紹介されました
10月5日	日経電子版	株式FOCUS『TPP大筋合意へ、日本株への影響は 市場の見方』で糸島がコメントしました
10月7日	M&Aタイムス	静岡銀行、コモンズ投信と資本業務提携 持分法適用会社へ
10月10日	TV東京	マネーの羅針盤 「ブルベアコンパス」のコーナーに糸島が出演しました
10月9日	日経新聞	5面 『業績相場、移行へ半歩 電機・自動車株に見直し機運』で糸島がコメントしました
10月23日	BSジャパン	日経プラス10に糸島がVTR出演しました
10月25日	日経電子版	マネーブログカリスマの直言に「ジュニアNISAに大人の責任」と題し渋澤が寄稿しました
10月26日	日経電子版	『大手も参入 コツコツ投資の味方「直販投信」の魅力』でコモンズ投信が紹介されました
10月26日	時事通信	【私の相場観】「年末2万1000円試す」で伊井がコメントしました
10月30日	日経電子版	【スクランブル・フラッシュ】『株、ハロウィーンに見せた連携 「緩和相場」延長戦へ』で糸島がコメントしました

セミナー案内

セミナー名	日付	時間	場所
30 才からの “はじめてのコモンズ” (お子様連れ可)	11月17日(火)	13:30～15:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	12月22日(火)	10:30～15:00	
30 才からの “はじめてのコモンズ”	11月25日(水)	19:00～21:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
60 才からの “はじめてのコモンズ”	11月27日(金)	13:30～15:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	12月25日(金)		
ジュニア NISA 徹底活用! パパとママのためのこどもトラストセミナー	(お子様連れ可) 11月10日(火)	13:30～15:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	11月27日(金)	19:00～20:30	
ジュニア NISA 徹底活用! 相談セミナー	(お子様連れ可) 12月10日(木)	13:30～15:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	(お子様連れ可) 12月18日(金)		
「コモンズ 30 ファンド」「ザ・2020 ビジョン」 ファンド説明会	11月11日(水)	19:00～21:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	12月9日(水)		
	12月19日(土)	14:00～16:00	
くつろぎ BAR	11月18日(水)	18:00～20:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	12月16日(水)		
寄付月間公認イベント ソーシャルアクション教室	12月5日(土)	10:00～14:00	文京学院大学(東京都文京区)
こどもトラストセミナー「寄付の教室」第2弾 ～欲しい未来へ、寄付を贈ろう～	12月12日(土)	10:00～13:00	東京都世田谷区 (ウイズダムアカデミー田園調布自由が丘校)
こどもトラストセミナー with ダイキン工業 「目指せ! 空気博士」	2016年 1月17日(日)	14:00～16:00	ダイキンソリューションプラザ フーハ東京(東京都新宿区)

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターにお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時～午後5時受付)

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■コールセンター (受付時間/平日 午前9時~午後5時) 03-3221-8730 ■ウェブサイト http://www.common30.jp/
◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。 ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2061号 加入協会 一般社団法人投資信託協会 コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階